

**製品名: プロヒビチン (5H7) マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM00856**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	腹水

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 30 kDa; Observed MW: 30 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PHB1
別名	PHB1; HEL-215; HEL-S-54e
遺伝子 ID	5245
SwissProt ID	P35232
免疫原	ヒトプロヒビチンの合成ペプチド

**背景**

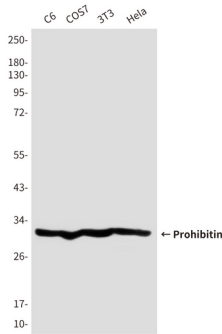
PHB1 は、細胞周期制御に関与する 30kDa の腫瘍抑制タンパク質です。PHB1 はミトコンドリア、核、細胞膜、そして細胞外循環中に存在しています。ミトコンドリアでは、プロヒビチンは主に膜結合型環状複合体として存在し、タンパク質合成および輸送にお

るミトコンドリアタンパク質の安定性を維持するシャペロンとして機能します。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



Prohibitin 抗体を使用した C6、COS7、3T3、および HeLa 溶解物中の Prohibitin のウェスタン プロット分析。